

## 第26回自治体キャラバン、スタート！



(PHOTO 左) 挨拶する井ノ尾奈良県実行委員長 (PHOTO 右) キャラバン成功へ決意をのべる吉本奈教組執行委員長

11月1日、国民大運動奈良県実行委員会主催の第26回自治体キャラバンスタート集会在近鉄奈良駅行基前広場で行われました。井ノ尾実行委員長のあいさつのあと、日本共産党の今井県会議員が連帯の挨拶を行いました。つづけて奈良民医連の菊池事務局次長、奈教組の吉本執行委員長が今年のキャラバンの中心課題提起を行い、奈良県庁前までアピール行進しました。

## 高齢化に負けるな。働き、子育てできる村をめざす。 2日間かけ、吉野の5自治体と懇談



(左) 野迫川村中本副村長と懇談 (中央) 十津川村との懇談 (右) 十津川では高齢者集合住宅が運営されていた。

年金者組合奈良県本部の藤垣執行委員長、清水副委員長、きょうされん奈良支部の島事務局長、奈良民医連の菊池事務局次長が11月7～8日に吉野郡の5村をまわり、懇談しました。人口減少と高齢化の中、若い世代が住み働き続けられる村をめざして、様々な取り組みが行われています。【野迫川村】村の福祉は福祉センターを指定管理で運営、グループホームに3名入居している。村から年間600万の補助を入れている。入居者にはお一人、月35000円補助している【十津川村】林業、木工所などで働くアイターンをすこしずつ受け入れている。一人暮らしの高齢者が増え、高森の特養ホームの周辺に高齢者集合住宅を建設し、運営している。【下北山村】村の健康づくりの事業は多彩にやっている。ウォーキングやヨガの教室など、保健師2名体制で取り組んでいる。心のケアもやっている。【上北山村】高齢化率は50%を超えた。国保診療所は医師が奥さんと一緒に村に同居され、土日も対応してくれるので大変助かっている。小学生が3人に増え、とてもうれしい。【川上村】「かわカミング」作戦で学校や住居の整備を行い、アイターン作戦を展開している。年間3家族12人が目標、毎年3～4世帯がやってきてくれる。子育て支援では高校通学援助を行い、橿原市くらいまでなら全額援助している。

# 住民要求掲げ、大和高田市民協が対市交渉



大和高田市対市交渉は市側の部課長 40 名、20 名を超える市民が参加し、切実な要求について意見交換を行った

## ●「水つき問題の早期解消を」「国保料を下げる絶好のチャンス」切実な要求がつつぎ

11月6日、大和高田市民協が対市交渉を行いました。高田市民協の松下議長、国民大運動奈良県実行委員会の菊池次長の挨拶のあと、各要望項目にそって市側の説明と意見交換が行われました。

はじめに、この間の台風や長雨による被害に関し市民から「台風21号などの影響で道路に水がひざ下ぐらいまでたまり大変だった」「雨水を溜める調整池の設置が進まないのはなぜか」などの声がだされ、「水つき問題」の早期解消の強い訴えがありました。国保の問題では「国保料が高すぎる。払える保険料にしてほしい。国保県単位化の奈良県第2次試算の結果では、大和高田市は収納必要額が少なくなる数少ない自治体の一つ。県単位化を機に国保は安くできる。取りすぎた保険料による繰越や積立は国保料を安くするために活用してほしい」との要請を行いました。つづいて小中学校の普通教室へのエアコンの設置など、要望書の内容に基づき、市民らが担当課と意見を交換しました。

## ●「戦争は嫌ということに右も左もない」、中南和地域平和のつどいへの「後援」復活を訴え

平和の問題では、中南和地域平和のつどい（8月開催）の後援を市と教育委員会が「中立性」を理由に取りやめたことについて、市民から「去年のつどいで会場に置かれた赤紙の文章が『中立性』をかいていたと電話で説明されたが、戦争が嫌ということに右も左もないと思う」など意見が出されました。

## ●11月の奈良県自治体キャラバンの予定●

11/15(水)	13:00～	大和郡山市	11/22(水)	14:00～	葛城市
11/15(水)	15:00～	奈良市	11/28(火)	14:00～	斑鳩町
11/16(木)	10:00～	平群町	11/29(水)	14:00～	五條市
11/21(火)	11:00～	御所市			